

岩合光昭写真展

やきものの里のネコ



©Mitsuaki Iwago

2016 7/16(土) ~ 9/4(日)

開館時間：午前10時～午後6時（最終入館は5時30分）

休館日：水曜日

観覧料：一般 500(400)円

高校・大学生 300(250)円

小・中学生 200(150)円

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

主催：喜多方市美術館

企画制作：M&M Color

後援：福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、読売新聞東京本社福島支局、
毎日新聞福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、福島テレビ、福島中央テレビ、
福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、喜多方シティエフエム



喜多方市美術館

〒966-0094 喜多方市字押切 2-2
Tel.0241-23-0404 Fax.0241-23-0406

岩合光昭 (1950-) は東京都出身の動物写真家で、地球上のあらゆるフィールドで撮影を行っています。また、ライフワークとして日本全国・世界各地のネコを取材し、ネコに関する写真集を多数出版しています。

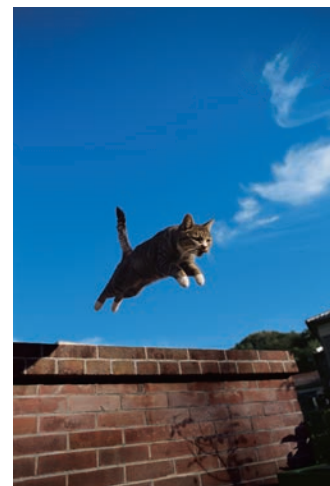
本展覧会では、日本各地の陶芸の町に暮らす「やきものの里」のネコたちのすがたを選びすぐりの写真で約60点紹介します。

古くから多くのやきものが作られてきた「やきものの里」では、ネコたちが陶房や町の中でゆったりした時間を過ごしています。その自然なすがたから、ネコとヒトとが寄り添いながら暮らしてきた営みを感じられます。

それぞれの町で作られるやきものが異なるように、ネコたちもそれぞれ異なる暮らしを営んでいます。懐かしい日本の情景と、ネコたちの豊かな表情をご覧ください。



©Mitsuaki Iwago



© iwago Photographic office

プロフィール

1950年東京生まれ。19歳のとき訪れたガラパゴス諸島の自然に圧倒され、動物写真家としての道を歩み始める。以来、地球上のあらゆる地域をフィールドに撮影を続けている。その美しく、想像力をかきたてる写真は「ナショナルジオグラフィック」誌の表紙を2度にわたって飾り、全世界で高く評価されている。木村伊兵衛賞を受賞した「海からの手紙」(朝日新聞社)や全世界でベストセラーとなっている「おきて」(小学館)をはじめ、数多くの写真集を発表。「岩合光昭のネコ」(日本出版社)「ハートのしっぽ」(小学館)「猫の恋」(毎日新聞社)などネコ関連も多数出版。

◆関連イベント

「岩合光昭 スライド&トークショー」※サイン会有

場 所：喜多方プラザ小ホール

日 時：7月18日(月・祝) 14:00~(13:30開場)

定 員：先着200名

入場料：無料 ただし、岩合光昭写真展の観覧券の半券をご提示ください。観覧券は会場受付にてご購入いただけます(事前申込み不要)

終了後サイン会を行います。会場または美術館で写真集を購入された方に限ります。

◆次回の展覧会

伊藤集三 木口木版画展

2016年9月10日(土)~10月10日(月)

◆交通アクセス

- ・JR喜多方駅から約1.5km 徒歩20分 タクシーで5分
- ・磐越自動車道会津若松ICから約19km 車で20分
- ・磐越自動車道会津坂下ICから約19km 車で30分

